

# 中部防災ニュース 平成29年 7月号

発行  
静岡県中部危機管理局  
電話 (054) 644-9104  
メール chuubou@pref.shizuoka.lg.jp

## あなたの職場は大丈夫？ ストップ！ 熱中症



職場における過去 5 年間の熱中症の発生状況は、7月と8月の 14 時から 16 時台に多くなっています。業種別では、建設業が最も多く、次いで製造業で、これらで全体の半数を占めています。しかし、熱中症は、条件が重なればどんな職場でも起こるものです。みなさんの職場でも暑さ対策を徹底しましょう。

### まずは暑さ指数を把握しましょう！

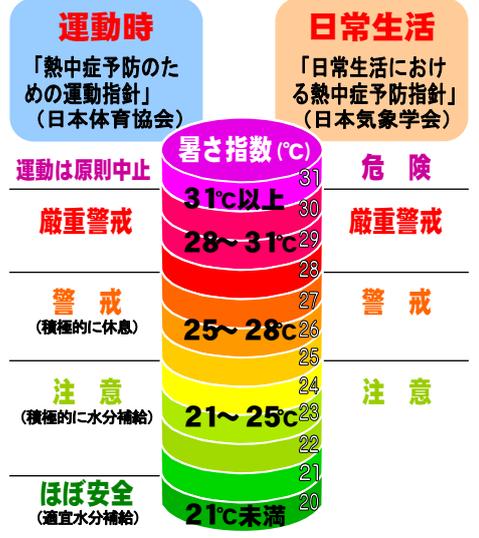
「暑さ指数計 (WBGT 計)」で、職場内の暑さ指数を測って、熱中症の危険度を把握しましょう。



#### 暑さ指数 (WBGT) とは？

人間の熱バランスに影響の大きい「気温」「湿度」「輻射熱」の3つを取り入れた温度の指標です。

暑さ指数 (WBGT) =



### 職場の熱中症対策

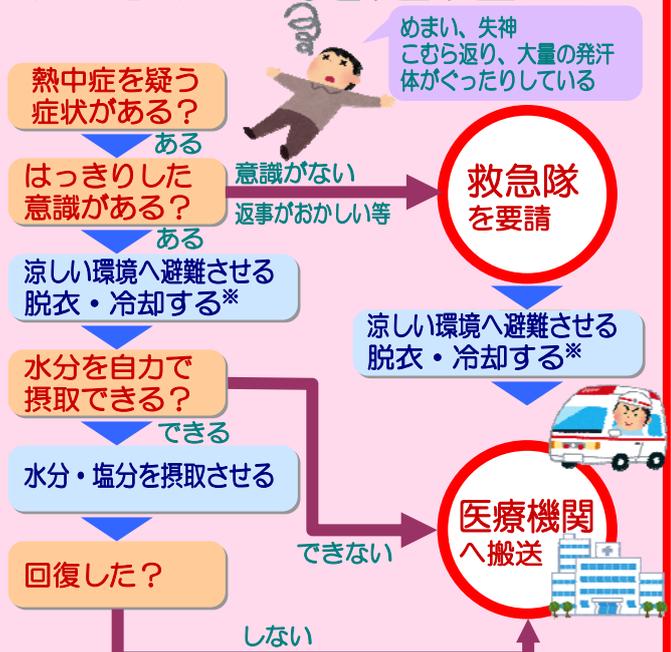
暑さ指数を把握したら、それに応じた対策を講じましょう。

- 暑さ指数を下げるための設備はありますか？
- 通気性の良い服・帽子を着用させていますか？
- 休憩場所や休憩時間を設けていますか？  
暑さ指数が高いときは、作業の中止、こまめに休憩をとらせるなどの工夫をしましょう。
- 暑さに適応する期間を設けていますか？  
暑さに慣れるまでの間は十分に休憩を取らせ、1週間程度かけて徐々に身体を慣らしましょう。
- 水分や塩分を摂取させていますか？  
喉が渇いていなくても、定期的に水分・塩分を取らせましょう。
- 健康診断結果を人員配置に反映していますか？  
①糖尿病、②高血圧症、③心疾患、④腎不全、⑤精神・神経関係の疾患、⑥広範囲の皮膚疾患、⑦感冒、⑧下痢などがあると熱中症にかかりやすくなります。医師の意見をきいて人員配置を行きましょう。
- 体調不良の従業員はいませんか？  
睡眠不足や前日の飲みすぎはないか、また当日は朝食をきちんと取ったか、管理者は注意しましょう。

check!

管理者は、頻りに巡視を行い、従業員の健康に異常がないか確認しましょう。  
従業員の健康に異常がある場合は、応急処置をして、医療機関へ搬送しましょう。

### 熱中症の応急処置



※体の冷却は、体表面を露出させ、うちわ等で冷やす。仰向けか横向きで寝かせ、頸部、脇の下、太ももの付け根を保冷剤等で冷やすとよい。

水難事故防止強化月間ですよ!

# 海の水難事故に気をつけよう!



多くの人々が海を楽しむ季節になりました。海水浴や釣り等様々な楽しみ方がありますが、海では命を落とすこともあります。警察庁によると平成28年度全国で発生した水難事故での死者・行方不明者は816人。そのうちの425人(52.1%)の事故発生場所は海でした。海の怖さを知り、安全対策を万全にして出掛けましょう。

## 体調管理は必須!

飲酒後や体調がすぐれないときは水泳や釣り等はやめましょう。体調が良いときでも、自身の体力や技量を過信しないようにしましょう。



## 危険箇所の確認!

海には深さ、水温、流れの速さ等の変化が大きい場所があり、こうした区域は「遊泳禁止」であることが多いので、標識等を確認しましょう。また、遊泳禁止区域外でも、天候や潮の満ち引き等で危険になることがあるので油断は禁物です。



「遊泳禁止」標識

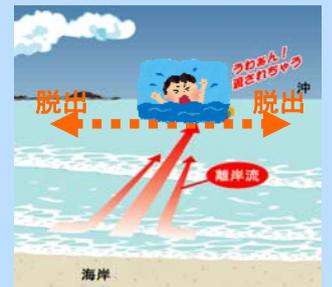
## ライフジャケットは必ず着用!



釣りや魚とり中の事故は、水泳中の事故よりも多く発生しています。体に合ったライフジャケットを正しく着用し、海のレジャーを楽しみましょう。

## 非常に危険な「離岸流」に注意!

沖へ流れる非常に速い流れ(離岸流)に遭遇したら、落ち着いて流れに逆らわず、岸と並行に泳いで脱出しましょう。



## こんなことにも注意!

- 子供から目を離さず、危険な場所に行かないよう、繰り返し声をかけましょう。
- 気象情報に気を配り、天候が悪化したら海に近づかないようにしましょう。
- もし流されたら、背浮きの状態で救助を待ちましょう。



溺れている人を見たら「119番」か「118番※」に電話! ※「118番」は海上保安庁の緊急通報用電話番号です。

# キッキーの 教えて危機管理講座 ペット避難編



災害は、ある日突然、起こります。そのとき、どのようにペットと避難して、避難生活を送るのか考えておく必要があります。避難生活は、人間だけでも厳しい状況が考えられます。いざという時に、周囲に迷惑にならないよう備えておきましょう。

## ふだんからの備え

- 飼い主が確認できるものをつけておく (迷子札、マイクロチップ、鑑札)
- 基本的なしつけ (クレートトレーニングなど)
- 健康管理 (予防接種など)

## 避難生活の必需品

□ クレート (ケージ)



□ 排泄物処理用具 (ペットシートなど)



□ 最低5日分のフードと水 必要に応じて 薬や療法食



□ 予備の首輪、リード、ブラシ など



□ ペットの記録



ペットとの同行避難が原則になります。避難所のルールを事前に確認しておきましょう。

